



卓球・春季関東学生リーグ 徳増が敢闘賞

春季関東学生卓球リーグ戦が5月7から15日まで、代々木第2体育館で行われ、男子が3勝4敗で5位、女子が2勝5敗で6位に終わった。個人では、徳増信弥(経済3・杜若高)が敢闘賞に選ばれた。写真(経営4・明豊高)は、戦

田村と井上 順位上げる

バドミントンの日本ランキング女子シングルス38位の展開したが敗れ、続いて行キングサーキット大会が5月29日から6月1日まで、高と同35位の田村千秋文(この結果、田村が同ランキング28位、井上が35位に順

東都大学野球春季リーグ(2部) 吉成捕手が首位打者

東都大学野球春季リーグ(2部)が5月30日に終了し、専大は、5勝8敗1分・勝ち点1で國學院大と同率5位となり、順位決定のため行われたプレーオフでは、先発

記録コーナー
◇アーチエリート部
▽全日本学生東日本選手権(5月24、25日、宮城県仙台市) 星達也(経営1・馬頭高) 110位
◇剣道部
▽関東学生選手権(5月11日、日本武道館) 高津貴之(経済3・安房高) 11位
▽全日本学生優勝大会(5月25日、日本武道館) ベスト16※全国学生優勝大会の出場権を獲得
◇ローリースケート部
▽東日本スピード選手権(6月1日、埼玉県熊谷市) ポーツ文化公園(50000ポインントレース) 内田康博(経営4・大宮北高) 115位

バスケットボール・関東大学選手権(男子) 中長距離シュート力磨き 秋のリーグ戦につなぐ

男子の関東大学バスケットボール選手権が5月17日から6月1日まで、国立代々木競技場第2体育館ほかで行われ、専大は8位に終わった。初戦となった流通経済大戦はダブルスコアで圧勝、次の白鷗大戦も勝利を収めたが、準々決勝で

力が整っていたのでもっと上を狙えただけだが、チームとしてのまとまりが足りなかったと思う。改善し、秋は優勝を狙います」と話し、女子主将の杉本枝穂(文4・青森山田高)も「上位を狙っていたので残念。技術よりも精神面で問題。弱気な卓球をしてしまった」

東京都馬術大会 武井、菅谷ともに上位健闘

東京都馬術大会が5月23、24の両日、JRA馬事公苑で行われた。130名標準の部で武井慎弥(経済4・奈良高)が2位、菅谷泰一(経済1・浦和東高)が3位、130名スピード&ハン

漕艇・東京都カヌー選手権 K-1 渡邊が大会3連覇 K-4 も勝ち2種目優勝



▲ K-4メンバー(左から松田、渡邊、真鍋、和田)

で渡邊秀幸(文3・富士河口湖高)が優勝し、大会3連覇を達成。カヤックフォア(K-4)500級でも松田雄幸(経営3・谷地高)・真鍋達朗(商3・久美浜高)・渡邊・和田恭平(商2・二本松工高)が優勝し、専大漕艇部が2種目を制した。松田は「両種目とも強豪・日本体育大を破ったの勝利は価値がある。これに満足せず、全日本選手、日本選手権でも頑張りたい」と話した。

交代選手が頑張る 東日本大学選手権に期待

春季関東大学バレーボール男子リーグ戦(2部)が4月12日から5月18日まで行われ、4勝6敗で6位となった。吉岡辰也主将(経営4・清風高)はリーグ戦をよりに、頑張りたい」と話した。(吉野 瞳・文1)

相撲・東日本学生選手権 4年ぶり団体入賞 来年1部校入り決める

東日本学生相撲選手権が6月8日、両国国技館で開かれ、専大は4年ぶりに団体戦でベスト8に



▲ 小池、迫力の突っ張り

この入賞で、夏の全日本大学選抜相撲大会の7尾、弘前、十和田の3大会の出場権を得た。相坂卓主将(経営4・三本木農高)は「ベスト

テニス・関東学生トーナメント 男女でシングルス10人、ダブルス5組 「全日本学生」出場へ

関東学生テニストーナメント大会が5月19日から25日まで、東京都の有明テニスの森で開催された。女子ダブルスで相羽望(文4・秀明英光高)・小金井理恵(商1・湘

果、シングルス8人、ダブルス3組がまた、男子ではシングルス2人、ダブルス2組が全日本学生選手権の出場を決めた。「負けたくないという気持ちが大きかった。最後まで集中し、攻め続けることができた」と松重。相羽は「冷静にプレーすることができた。インカレに向けて1日も無

ボウリング部 親しみやすい競技の 奥深さに意欲高まる

大学生が親しみやすい「ボウリング」というスポーツを、楽しみながら、競技として真剣に取り組んでいるボウリング部の雰囲気は明るく、部の雰囲気は厚い。



▶ 部員同士の信頼は厚い